

一般社団法人 岩の力学連合会
平成 24 年度・第 2 回理事会 議事録

日時	平成 24 年 10 月 4 日 12:30～15:30	場所	公益社団法人地盤工学会 会議室
----	------------------------------	----	-----------------

理事会	理事長	清水 則一	○	副理事長	新 孝一	○	理事 幹事長	岸田 潔	○
	理事	芥川 真一	×	理事	石井 裕	×	理事	石田 毅	●
	理事	伊藤 高敏	○	理事	大津 宏康	×	理事	尾原 祐三	●
	理事	風間 優	×	理事	京谷 孝史	×	理事	坂口 清敏	○
	理事	笹尾 春夫	○	理事	蔣 宇静	○	理事	鳥井原 誠	○
	理事	中山 範一	×	理事	船戸 明雄	○	理事	山口 勉	○
	理事	山口 嘉一	×						
	監事	得丸 昌則	○	監事	福田 直利	○			
	オブザーバー	大西 有三	×						

敬称略順不同, ○ : 出席, × : 欠席, ● : Web 出席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 24-2-1	平成 24 年度第 1 回常任理事会議事録
資料 24-2-2	平成 24 年度第 2 回常任理事会議事録(案)
資料 24-2-3	平成 23 年度第 4 回理事会議事録(案)
資料 24-2-4	平成 24 年度第 1 回理事会(書面会議)議事録(案)
資料 24-2-5	平成 24 年度臨時理事会議事録(案)
資料 24-2-6	入退会状況について
資料 24-2-7	電子ジャーナルの J-Stage への移行の進捗について
資料 24-2-8	連合会賞選考委員会からの審議事項
資料 24-2-9	一般社団法人 岩の力学連合会規則(案)
資料 24-2-10	新副理事長メモ
資料 24-2-11	外部理事の責任限定について
資料 24-2-12	一般社団法人 岩の力学連合会 基金管理・運用規程(案)
資料 24-2-13	ARMS8 組織委員会構成(案)
資料 24-2-14	一般社団法人岩の力学連合会 ARMS8 組織委員会規則(案)
資料 24-2-15	一般社団法人 岩の力学連合会会計規程(案)
資料 24-2-16	平成 24 年度更正予算案
会議後回収資料	平成 24 年度表彰委員会構成(案)

会議の成立

理事定数 19 名に対し, 12 名 (内 2 名 Web での出席) の出席があり, 定款 47 条を満足し, 本会が成立することが岸田理事・幹事長より報告された。

理事長挨拶

清水理事長より開会の挨拶がなされた。清水理事長就任当初からの目標である、法人化後の学会の運営整備、国際的活動の支援、会員サービスの強化について、一層の協力要請がなされた。

議事前の報告事項

1. 常任理事会報告

- ・ 平成 24 年第 1 回常任理事会議事録 資料 24-2-1
 - ・ 平成 24 年第 2 回常任理事会議事録(案) 資料 24-2-2
- 岸田理事・幹事長より上記 2 件の議事録の紹介がなされた。

議 題：

1. 前回議事録の確認

- ・ 平成 23 年度第 4 回理事会議事録(案) 資料 24-2-3
 - ・ 平成 24 年度第 1 回理事会(書面会議)議事録(案) 資料 24-2-4
 - ・ 平成 24 年度臨時理事会議事録(案) 資料 24-2-5
- 岸田理事・幹事長より、上記 3 件の議事録の内容が紹介され、**原案通り承認された。**

2. 入退会について

資料 24-2-6

資料 24-2-6 を用いて岸田理事・幹事長より平成 24 年 8 月から 9 月までの入退会状況の説明がなされた。賛助会員の増減はなし。正会員は 2 名退会希望、学生会員は 1 名退会希望であった。**いずれの退会も承認された。**平成 24 年 10 月 4 日現在、賛助会員 36、正会員 340、学生会員 9 である。

3. 更正予算について

資料 24-2-

- ・ **ISRM 50 Years Book の購入**：ISRM50 周年記念の出版物の購入を実施し、会員サービスの一環として賛助会員に配布する。**消耗品費に ISRM50 周年記念誌購入の項目を設け、500,000 円計上することが提案された、承認された。**
- ・ **企画特別委員会 (連合会 50 周年記念実行委員会)** に伴う予算処置について：連合会 50 周年事業の実施とそれに伴う実行委員会の設立が認められたのに伴い承認されたことに伴い、**旅費、会議費として 200,000 円、30,000 円の更正予算が提案され、承認された。**
- ・ **選挙管理委員会**：代表社員の改選に伴う選挙を実施するに当たり、選挙管理委員会の立ち上げと予算化の必要がある。**旅費、会議、通信費【投票用】として 100,000 円、20,000 円、300,000 円の更正予算が提案され、承認された。**

4. 委員会審議事項

1) 編集委員会

なし

2) 国際技術委員会

なし

3) 電子ジャーナル委員会

資料 24-2-7

石田理事・電子ジャーナル委員長より、資料 24-2-7 を用いて J-Stage への電子ジャーナル登録準備状況とそれに伴う審議事項の説明がなされた。

- ・ JST の講習会で提供された資料に基づき提出書式を作成し、JST に了解を得ている。
- ・ 10 月 4 日に開催されるアップロードの講習会に参加後、JST の了解を得られれば正式に運用可能となる。
- ・ 第 8 巻(2012 年号)から J-Stage に掲載したいとの提案がなされた、了承された。
- ・ J-stage への移行に伴い、学会 Web の改定が必要になる。これは、RockNet 委員会が対応する。
- ・ J-Stage への登載に伴い、論文の書式など若干変更する必要がある。これに伴い、**委員会を開催したい旨の提案がなされた。予算処置もされており、委員会の裁量で実施しても楽ことが確認された。**
- ・ 書式等の変更は、委員会が作成し、理事会で承認する流れとなる。急ぐようであれば、書面会

議で承認をとることも可能である。書面会議を実施するのであれば、12月か1月頃になる。

4) Rock Net 委員会

なし

5) 岩の力学連合会賞選考委員会

資料 24-2-8

資料 24-2-8 および会議後回収資料を用いて新副理事長・連合会賞選考委員長より審議事項の説明がなされた。

- ・ 組織団体より推薦をもとに「連合会賞選考委員について」提案説明がなされ、承認された。
- ・ 論文賞、技術賞、フロンティア賞の選考などに関する細則の改定案が示された。提案どおり改定案は承認された。文章表現に関して、一部修正をすべきである意見がなされ、新委員長が集約し文案作成の後、回覧を行うこととなった。
- ・ 「募集要項(案)」についての説明がなされ、一部修正のうえ承認された。岩の力学ニュース、ホームページに記載し、周知を進めていく。併せて、各理事が関係機関に周知を行う。

6) 選挙管理委員会

山口理事・選挙担当より説明がなされた。

- ・ 「代議員の公募は、本年12月中までとして実施したい。」
- ・ 「公募案について、前回同様とすることで承認されたが、発信が選挙管理委員会であるため、速やかに選挙管理委員会を立ち上げ、公募案を確定する。」必要に応じて理事会書面会議を開催するが、書面会議は12月か1月の予定である。
- ・ 公募終了後、速やかに各組織団体に代議員候補の推薦をお願いする。公募で募集のあった候補数を考慮し、各組織団体に依頼する。2月末までとする。
- ・ 3月に選挙公示・投票を実施し、4月初旬に開票を行う。
- ・ 選挙管理委員会は予算化されていなかったため、「更正予算を申請する。」

7) 総務委員会

資料 24-2-9 ~ 12

連合会規則(案)についての説明が、岸田理事・幹事長より資料 24-9-10 を用いてなされた。

- ・ 事前回覧にたいして、新副理事長より意見が説明された(資料 24-2-10)。定款との整合性の指摘であり、修正案を新副理事長および規則担当理事を中心に作成することで確認がなされた。既に、初回提案から長らく時間が経過していること、監査において監事から規則整備の不備を指摘されていること、規則(案)にしたがって実際的な運営がなされていること等を考慮して、速やかに制定することが確認された。
- ・ 福田監事からの指摘事項(資料 24-2-9)についての回答が説明された。

定款に記載されている外部役員の扱いについて、資料 24-2-11 を用いて清水理事長より説明がなされた。

- ・ 今年度の登記では「外部役員」の記載はせず、これまで通り「代表理事」「理事」の登記を行ってきた。一方、登記時に定款では外部役員の表記があるが、外部役員を登記するのか否かの質問を受けた。
- ・ 定款を変更することは、明確に理由が見当たらない。
- ・ 「今後も登記では、「外部役員」の記載は行わない。」
- ・ 「代表理事は、理事長、副理事長、業務執行理事は、幹事長、常任理事であるということが確認された。」
 - ✓ 役員無報酬の場合の責任について
 - ✓ 地盤工学会では定款には外部役員の記述はない。

基金管理・運用規程(案)について、資料 24-2-12 を用いて船戸理事・規則担当より説明がなされた。

- ・ 前回の審議からの主な修正点は、理事会の承認で規程の変更、基金の運用ができるようにした点である。
- ・ 「原案通り承認され、施行されることとなった。」

岸田理事・幹事長より ARMS7 で実施される Asian Council Meeting および大西副総裁の活動支援に関する説明がなされた。

- ・ 「ARMS7(韓国)での Asian Council Meeting には、清水理事長が代表で出席する」ことが説明され、承認された。岸田理事・幹事長が陪席をする。
- ・ Asian Council Meeting 席で、大西副総裁が「アジアからの情報発信」ということで発言する機会を求めておられ、清水理事長から既に提案して認められている。

- ・ 大西副総裁は、アジアからの情報発信を副総裁としての業務と考えられている。これは、副総裁立候補時の演説でもそのように発言されている。具体的には、ARMS7の説明と他国、特に韓国との関係を考慮して進めていく必要がある。継続的な議論として、沖縄での日韓ジョイントセミナーでも情報交換の場を設定したい考えである。
- ・ 大西副総裁の活動を支援する方針は確認された。具体的な内容については、今後の状況を見極めて対応する。

8) 企画特別委員会

岸田理事・幹事長により連合会創立50周年（2014年）事業の実施についての説明がなされた。

- ・ 総会時の記念講演会や記念誌の出版を念頭に、50周年記念事業は実施することが確認され、連合会連合会50周年記念行事実行委員会の設立が承認された。併せて、今年度の更正予算を申請することとなった。
- ・ 委員長および専門幹事・委員についての議論がなされた。意見があれば、1週間程度で岸田理事・幹事長あてに送付する。基本的には、委員長の人選は、理事長に一任とする。
- ・ 記念出版と2014年総会時に講演会、International Symposiumで講演会などが、基本的な50周年記念事業であるが、実行委員会の議論を行い、方針を決定し理事会に上申することとなる。
- ・ 参考意見として、下記記念出版物の構成(案)が紹介された。「4-4」の「天然ガス」の表記は、LPG（石油ガス）が適切である。石油・LPG備蓄プロジェクトより、カミオカンデのプロジェクトが適切ではという意見がなされた。海外のプロジェクトや地下発電所の記載もあっていいのでは、という意見がなされた。

1. はじめに

2. 歴代総裁・副総裁経験者からの寄稿

3. トピックごとの寄稿（理事長・副理事長経験者等、重鎮にお願いする）

3-1 岩盤試験の歩み

3-2 岩盤数値解析の歩み

3-3 物理探査と岩盤工学

4. 岩盤工学が貢献したプロジェクト

4-1 黒部ダム

4-2 本四国連絡橋（明石海峡大橋）

4-3 青函トンネル

4-4 石油・天然ガス備蓄

5. 年表等の整理

9) 岩の力学国内シンポジウム運営委員会

なし

10) 地殻応力国際シンポジウム組織委員会

なし

11) ARMS8 組織委員会

資料 24-2-13,14

資料 24-2-13, 14 を用いて組織員構成(案)および組織委員会規則(案)の審議がなされ、承認された。

5. その他

今後の予算執行、次年度事業計画および予算案の日程等の確認がなされた。

- ・ 平成25年度事業計画および予算案（第1次）の締切：12月25日
- ・ 平成24年度予算執行：平成25年3月10日まで
- ・ 平成24年度事業報告：平成25年3月10日まで
- ・ 次年度事業計画および予算案は、現執行部で行うが、スムーズに引き継げるよう調整を行うことが確認された。

議事後の報告事項

1. 委員会活動報告

1) 編集委員会

- ・ 105号の編集作業の報告がなされた。11月中旬発刊予定である。今号から研究室紹介の記事を掲載していくこととなった。

- 2) 国際技術委員会
なし
 - 3) 電子ジャーナル委員会
なし
 - 4) Rock Net 委員会
なし
 - 5) 岩の力学連合会賞選考委員会
なし
 - 6) 選挙管理委員会
なし
 - 7) 総務委員会
以下の点についての報告がなされた。会計規程案に関しては、船戸理事・規則担当から資料 24-2-15 を用いて説明がなされ、意見等がある場合は、1 週間以内に船戸理事に送付することが確認された。
 - ・ ISRM へ会員リストを送付。請求書を受理。会費送金済み
 - ・ ISRM から個人会員証を受理。岩の力学ニュースと併せて印刷・送付する
 - ・ OnePetro, 個人情報の更新について問合せ中
 - ・ 賛助会員の Web リンクについて修正依頼を送付
 - ・ 会議案内を RockNet で配信
 - ・ 会計規程案の策定状況
 - 8) 企画特別委員会
なし
 - 9) 岩の力学国内シンポジウム運営委員会
 - ・ 現在、査読中である。
 - ・ 韓国からも 10 件以上の申し込みがなされた。
 - ・ 今後は、参加者の募集が中心的な活動になる。各理事で周辺に周知いただきたいとの要請がなされた。
 - 10) 地殻応力国際シンポジウム組織委員会
 - ・ 基調講演者等の人選を進めており、ほぼ確定している。
 - ・ 科研費の申請ができないため、外部資金の導入が厳しい状況である。
 - 11) ARMS8 組織委員会
なし
2. その他
なし

資料 24-2-15

以上

議事録署名人

理事長

監事

監事

今後の予定

第3回常任理事会

日時： 平成25年1月15日(火)14:00から17:00

場所： (公社)地盤工学会会議室

主な議題： 平成25年度事業計画(第1次), 平成25年度予算案(第1次)

第3回理事会

日時： 平成25年3月22日(金)14:00から17:00

場所： (公社)地盤工学会会議室

主な議題： 平成25年度事業計画, 平成25年度収支予算
平成24年度事業報告案, 平成24年度決算案